



弊社のご紹介

2021年6月更新分

【基本データ】

商号	有限会社 富城物産 TOMISHIRO PRODUCTS CO., LTD. (英語表記)
本社所在地	〒870-0268 大分県大分市政所 3684 番地
設立	平成6(1994)年6月6日
資本金	10,000,000円
年商	498,879,239円(第26期)
役員	代表取締役 劉 懿喆 専務取締役 橋本 成史 常務取締役 高木 邦久 取締役部長 張 建宗 取締役部長 足立 真由美
電話	097-592-6688
FAX	097-592-6699
Email	info@tomishiro.com
サイト	https://www.tomishiro.com/
社員数	28名(2021年6月現在)

【業務内容】

◎ペット関連：

- ・ペットの生き餌、乾燥餌、冷凍餌の製造卸販売
- ・熱帯魚、甲殻類、爬虫類、両生類の輸入販売
- ・飼育用品や水槽用品の製造卸販売

◎漁具関連：釣り餌、カキ殻等の漁業関連商品輸入卸販売

◎電気器具：LED 照明輸入販売・デジタルサイネージ輸入販売

◎再生可能エネルギー：小型風力発電機器輸入販売

◎その他：輸入代行、輸出指導、現地調査、投資案内、人材派遣、起業コンサルティングなど

【主要取引銀行（順不同、敬称略）】

豊和銀行大在支店、大分銀行大在支店、みずほ銀行大分支店、ゆうちょ銀行、大分県信用組合大在支店

【主要輸入国】

中華人民共和国、インドネシア共和国、タイ王国、インド、シンガポール共和国、ミャンマー連邦共和国、ブラジル連邦共和国、コンゴ民主共和国、ナイジェリア連邦共和国、スペイン王国など

【主要取引先（順不同、敬称略）】

◎ペット関係：サイバークリケット、有限会社オーシーファーム、株式会社阿蘇熱帯魚、浅田鳥獣貿易株式会社 Kenny 東京店など

◎生き餌：株式会社原商店

◎牡蠣殻：城島タカ雅・佐賀県有明海漁協など

◎その他：株式会社ハヤミ産業など

【富城物産の経歴】

平成 6 年 6 月	大分県大分市政所にて有限会社富城物産として創業、釣り餌の輸入販売を開始
平成 13 年 7 月	本社を大分市迫に移転 ペット事業部設立
平成 15 年 3 月	冷凍マウスの取り扱いおよび、自社開発製品「カンシャ」赤缶の販売開始
平成 15 年 9 月	ITサポート事業部設立
平成 15 年 12 月	本社を大分市政所に移転
平成 16 年 1 月	さがり（漁具）の取り扱いを開始
平成 17 年 7 月	冷凍川エビの取扱いを開始
平成 17 年 11 月	「カンシャ」業務用の取扱いを開始
平成 18 年 9 月	「カンシャ」黒缶、同業務用の取扱いを開始
平成 21 年 10 月	リサイクル業 エコセンター設立
平成 24 年 9 月	冷凍アカムシ販売開始
平成 25 年 8 月	業務拡大のため青崎倉庫を整備
平成 26 年 9 月	デジタルサイネージ取り扱い開始
平成 28 年 3 月	スチールボール、LED 照明取り扱い開始
平成 29 年 7 月	実験用ボート「TOMISHIRO」購入及び進水式
平成 29 年 10 月	大分市牧の富城ビル、第 2 富城ビル購入
平成 29 年 12 月	平成 28 年度補正ものづくり補助金採択事業として、大分市政所に国産マウス繁殖施設の実験施設を建設
平成 30 年 7 月	大分市城原に、大在魚見館オープン
平成 30 年 11 月	大分市業務流通団地の一面を購入し、富城倉庫として利用開始
平成 30 年 12 月	大分市政所の本社事務所建替え
令和元年 10 月	大分市城原に、大在亀蛇館（おおざいきんみかん）オープン
令和元年 12 月	大在魚見館にて熱帯魚の輸入卸部門稼働開始
令和 2 年 4 月	経済産業省制定の健康経営優良法人 2020 に認定
令和 3 年 1 月	大分市庄境の土地を購入
令和 3 年 4 月	経済産業省制定の健康経営優良法人 2021 に認定

（現在に至る）

グループ会社：有限会社富城食品（青崎食品加工場、大在旬味館）、富城農産株式会社、富城陽光株式会社、富城企画株式会社

関連団体： NPO 法人 AU

以 上

< 弊社の概要説明 >

・平成6年より釣り餌の輸入販売をメイン業務として会社をスタートしました。

・平成15年には冷凍マウスの輸入販売を開始。当初は年間2万匹の輸入販売でしたが、現在では年間約600万匹を日本全国のすべての都道府県に卸売りや小売りをを行う会社へと成長させていただきました。全国で2,000軒以上のお客様とお取引をさせていただいており、弊社がこの業務を辞めると大変お困りになる動物園様、ペットショップ様がたくさんいらっしゃいます。



・現在は中国より冷凍マウスを輸入しておりますが、昨今の貿易事情を鑑み、中国に頼らない生産システムに変更したいと考えております。国内でマウスを養殖し国内需要に対応。その後、欧米に Made In Japan の冷凍マウスを輸出していく計画です。

・平成6年より輸入販売を行っていることで、税関とは大変有効的な関係を築いており、弊社が税関の検査項目の洗い出しに協力したこともありますし、また何年にもわたり税関の新人職員を、関西や成田から研修機関として受け入れてきました。輸入に関する綿密なルール作りに、微力ながら力をお貸ししております。

・たまたまご縁があって杉田社長と知り合うことができました。余っている施設を無駄にしたくないという杉田社長の考えに共感し、養鶏場だったところを繁殖場として活用させていただきたいと考えております。そのことにより、大分市や別府市と同様、杵築市にも何らかの貢献をさせていただきたいと切望しています。

・近隣住民の方々とは、特に友好関係を築いていきたいと考えています。その一環として、弊社よりマウスの餌にするひまわりの種を無料で配布。ひまわりの花を楽しんでいただいた後、収穫した種を買い取らせていただきたいと計画しております。



・動物園の飼育動物、ペットショップや愛好家の方のペットの餌となるマウスについては、今から 20 年以上前に中国で、100%弊社出資の設備を作り、養殖実験や研究を開始。生産の目途が立った後、年間 2 万匹から輸入を開始しました。

・現在まで継続して養殖しているのは、実験用のハツカネズミです。ハツカネズミは基本的に養殖かごから外に出ません。出たとしてもかごから落ちたら死んでしまうだけです。走る力がありません。

・出荷目途の大きさが何種類かあるのですが、その大きさになった段階で何種類かある方法により殺処分を行います。せめてもの配慮ですが、動物愛護の観点から苦しみが長引かないように迅速に処分いたします。また環境を汚染しない方法を採用しております。



・殺処分後、マイナス 36 度の瞬間冷凍庫で凍らせます。個体の大きさに合わせて包装し、マイナス 18 度の冷蔵保管庫で出荷まで保管します。販売するのは前述通り日本国内全域と、将来的には欧米への輸出を考えています。

・マウスの出すし尿についてですが、フンは顆粒状で、尿は木屑に染み込ませます。一緒に発酵させることにより、牛フンや豚フンより良い堆肥を作ることができます。弊社グループの農業法人である富城農産でもこの堆肥を使っており、杵築市の農業に大きく貢献できると考えています。



・社会貢献の一環として、別府市の行事（年2回の花火大会）に、上から2番目のスポンサーとして参加いたしております。北浜のヨットハーバーは大分県から命名権を得て、「富城ヨットハーバー」と命名。本年3月31日で命名権は切れましたが、大分県とは今後も力を合わせて、若い世代のトレーニングの場としての機会や場所を提供していきたいと考えています。

・また、大分市大在地区で年1回開催される「おおぞいワッショイ」には、10年以上トップスポンサーとして参加し、出店も致しております。



・加えて、平成31年4月19日より6月9日まで大分市美術館にて開催された切り絵アート展を、単一スポンサーとして特別協賛させていただきました。中国発祥の切り絵が日本で大きく花開いていることを大分で初めて紹介することができ、同時に地元の切り絵作家さんも2名紹介することができました。大分の文化的な発展の、細やかな一助になったのではないかと考えています。

【前売券】 大分合同新聞社本社受付・同プレスセンタ
 【販売所】 ローソンチケット(Lコード82233)、チウ
 主 催 / 切り絵アート展大分実行委員会、大分合同新聞
 企画協力 / 毎日新聞社
 後 援 / 大分ケーブルテレコム、エフエム大分、NOAS FM
 特別協賛 / **TOMISHIRO** 富城物産



・最後に弊社の新しい取り組みを一つ紹介させていただきます。

城島高原パーク様とご縁を得ることができ、遊園地内のすべてのベンチを弊社費用で入れ替えさせていただきました。皆様も遊びに行かれる際は、休憩や待ち合わせにご利用いただければ幸いです。

以上